



静岡労働基準監督署発表
令和5年8月29日

【担当】静岡労働基準監督署
安全衛生課長 安本昌寛
(電話) 054-252-8107

1. 管内（静岡市）の事業場の定期健康診断実施結果状況（令和4年）を取りまとめました。
2. 全国労働衛生週間を実施します。

1. 定期健康診断実施結果の状況を取りまとめました。

労働安全衛生法に規定されている1年以内ごとに1回の定期健康診断について、健康診断結果の報告義務のある常時50名以上の労働者を使用する事業場で実施された令和4年の健康診断の実施結果の状況をお知らせします。

なお、健康診断の実施状況の数値について、静岡労働基準監督署は静岡市内、静岡労働局は静岡県内、全国は全国の、常時50人以上の労働者を使用する事業場から提出された定期健康診断結果報告書の数値を基に算出したものとなります。

（1）有所見率について（資料1-1、1-2参照）

・令和4年の健康診断受診者は76,221人、有所見者は44,710人（有所見率は58.66%）。

・過去10年で最も高い有所見率となった昨年（令和3年 59.93%）から、1.27%減となったものの、過去10年で2番目に高い有所見率となる。

（ 全国統計有所見率 58.30%に対して 0.36%増

静岡労働局有所見率 58.26%に対して 0.40%増 ）

静岡労働基準監督署管内の令和4年の有所見率は、全国統計の有所見率、静岡労働局の有所見率を上回っており、年々上昇傾向にあります。特に、有所見率が高い業種は、「清掃・と畜」73.18%、「映画・演劇」73.23%、「商業」66.82%、「建設」65.99%、「運輸交通」62.48%等となっています。

（2）検査項目別有所見の状況について（資料1-3参照）

検査項目別の有所見状況は、添付資料No.1-3のとおりです。検査項目14項目のうち有所見率が高いもの上位5項目は、①血中脂質検査、②血圧検査、③肝機能検査、④血糖検査、⑤貧血検査であり、有所見率上位5項目のうち、血中脂質検査、血糖

検査、貧血検査の有所見者が全国平均の有所見率を上回っており、管内の労働者において動脈硬化、脳・心筋梗塞、糖尿病の発症リスクが高いことが懸念されるところです。

2. 全国労働衛生週間を実施します。

全国労働衛生週間は、昭和 25 年の第 1 回実施以来、今年で 74 回を迎えます。

本年は、第 14 次労働災害防止計画の初年度として、

- ・自発的に安全衛生対策に取り組むための意識啓発
- ・中高年齢の女性を中心に作業行動に起因する労働災害防止対策の推進
- ・労働者の健康確保対策の推進
- ・化学物質等による健康障害防止対策の推進

等の重点を定め、労働災害防止対策の取組を推進していくこととしています。

(1) 期間

令和 5 年 10 月 1 日から 10 月 7 日

(準備期間 令和 5 年 9 月 1 日から 9 月 30 日)

(2) スローガン

「目指そうよ二刀流 ころとからだの健康職場」

(3) 期間中に実施する説明会

- ・全国労働衛生週間説明会

(主催：清水労働基準協会 9 月 1 日

静岡労働基準協会 9 月 4 日、 後援：静岡労働基準監督署)

日時：9 月 1 日 (金) 午後 2 時 00 分より

開催場所：清水テルサ (静岡市清水区島崎町 223)

特別講演『受動喫煙防止セミナー』

講師：目黒労働安全衛生コンサルタント事務所 所長 目黒 輝久 氏

日時：9 月 4 日 (月) 午後 1 時 30 分より

開催場所：静岡県産業経済会館 3 階大会議室 (静岡市葵区追手町 44-1)

特別講演『あなたに知ってほしい感染症のいま』

講師：静岡市保健所保健予防課 新型感染症係 保健師 前島 小津江 氏

添付資料

No. 1-1、1-2、1-3、1-4 定期健康診断実施状況資料

No. 2 令和 5 年度全国労働衛生週間実施要綱